

15日 月曜

創世記

8:1 神は、ノアと、彼とともに箱舟の中にいた、すべての獣およびすべての家畜を覚えておられた。神は地の上に風を吹き渡らせた。すると水は引き始めた。

8:2 大水の源と天の水門が閉ざされ、天からの大雨がとどめられた。

8:3 水は、しだいに地の上から引いていった。水は百五十日の終わりに減り始めた。

8:4 箱舟は、第七の月の十七日にアララテの山地にとどまった。

8:5 一方、水は第十の月まで減り続け、第十の月の一日に、山々の頂が現れた。

8:6 四十日の終わりに、ノアは自分の造った箱舟の窓を開き、

8:7 鳥を放った。すると鳥は、水が地の上から乾くまで、出たり戻ったりした。

8:8 またノアは、水が地の面から引いたかどうかを見ようと、鳩を彼のもとから放った。

8:9 鳩は、その足を休める場所を見つけられなかつたので、箱舟の彼のもとに帰つて來た。水が全地の面にあつたからである。彼は手を伸ばして鳩を捕らえ、自分がいる箱舟に入れた。

8:10 それからさらに七日待つて、再び鳩を箱舟から放つた。

8:11 鳩は夕方になって、彼のもとに帰つて來た。すると見よ、取つたばかりのオリーブの若葉がそのくちばしにあるではないか。それで、ノアは水が地の上から引いたのを知つた。

8:12 さらに、もう七日待つて、彼は鳩を放つた。鳩はもう彼のところに戻つて來なかつた。

神はご自分の民を愛し、不安や忍耐の中にいる者を慈しんでくださいます。（滅ぼされた人々に関して）



聖書の記述

は、彼らがどれほど悪いものであったのかは聖書に記されていませんから、類推で論じても意味がないでしょう。）神様はただ救うだけでなく、どんなときも共にいてくださるのです。

その後神は風を吹かせて、地上の環境を変えてくださいました。ノアたちの今後の生活を思いやってのことです。同じように救いにあづかった私たちも、神様から思いやりの配慮をいただいています。必要なら主はすぐにでも状況を変えることのできるお方です。

水は次第に引いてゆきました。主の回復はみわざの後に徐々に進む場合が多いのです。その間、私たちは祈り、考え、主に感謝しつつ、新しい出発の備えができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

